

令和7年度実践研究事業（案）

宇治市部活動地域移行検討委員会事務局

1 実施・検証の目的

- ・宇治市に合った地域クラブ活動の効果的な運営モデルを模索し、地域で持続可能な運営方法の確立、長期的な取組につなげる。
- ・実践研究事業を通して、地域クラブ活動の効果や課題を検証する。
- ・保護者、地域、教職員等に対して地域展開の意義等への理解を深める。

2 対象校及び対象部活動

(1) 対象校

- ・生徒数が減少していて、部活動数の見直しが必要となってくる学校

(2) 対象部活動

- ・子どもの活動が困難な状況にある部活動
- ・指導者に高い専門性が求められる部活動

3 実施体制

- ・学校教育課（市教委）と文化スポーツ課（市長部局）が事務局となる
- ・学校部活動と地域連携、地域クラブ活動が併存するため、生徒指導面や安全面での連携、連絡のしくみを構築
- ・地域クラブコーディネーターを配置
【地域クラブコーディネーターの役割】
◎地域クラブ活動の実施を支援・調整役を担う
 - ・地域、学校、保護者、指導者等の関係者の調整や連絡を担う
 - ・運営団体（事務局）との連絡・調整、地域や保護者、中学校への周知等
 - ・関係者への指導助言

4 指導者の確保について

- ・指導者は、教員（兼業兼職）や部活動指導員、スポーツ・文化団体関係者を想定
- ・スポーツ・文化団体と連携し、人材の掘り起しを実施
- ・指導者は技術指導のみではなく教育的側面についても理解した人物であることが求められるため、指導者研修を充実
- ・休日の指導を希望する教員は、教員としての立場ではなく兼職兼業の許可を得て地域活動の運営主体の下で従事できる仕組みを構築

5 実施・検証のスケジュール

【令和6年度】

- 1 2月：令和7年度実践研究事業（案）について検討（実施校・実施部活・実施体制、指導者等）
- 2～3月：令和7年度実践研究事業について検討委員会で確認

【令和7年度】

- 5月：実践研究事業実施に向けて確認
- 6～8月：実践研究事業実施に向けて準備
- 9～1月：月1回（基本土曜日）実践研究事業実施（年間5回実施予定）
※実施後の検討委員会で課題等について検証